

特定非営利活動法人(NPO法人) (通称: AAC21)

21世紀のカンボジアを支援する会

ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【東京本部】〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-701
TEL 03-3991-2854 FAX 03-3557-1213
E-mail: info@aac21.net

【関西支部】〒665-0061 兵庫県宝塚市仁川北3-10-27 中野方

【カンボジア事務所】 Phom Thmey, Sangkat Rokathom, Krong Chbamon, Komponspeu.
Kingdom of Cambodia
電話: (855) 12-519-114 (855) 12-946-483

【ホームページ】 AAC21

会報

幸福を、平和を、豊かな心を、 カンボジアの友と分かち合おう



アンコールワット

発行日 2012年（平成24年）5月1日

第64号

（年6回発行）
（奇数月発行）

夢叶ってカンボジアに校舎をプレゼント

愛知県安城市の石川桂さん



開校式であいさつする石川桂さん



完成した新校舎

愛知県安城市の石川桂さん（理事・里親会員）の資金協力により建設中だった小学校の校舎（コンポンチャム県、トロバントム小学校、生徒数約百五十人）が完成、三月九日、同小学校の校庭において開校式が行なわれた。日本からは、石川桂さんを始め



日本大使館を表敬訪問（中央が川村公使）

とすふれあいの旅の参加者が、地元からは、カンボジア政府「教育・青少年・スポーツ省」エム・シット大臣を始め、住民や生徒など約五百人が出席した。開校式には、カンボジアにおける教育行政のトップ（日本の文部科学大臣）が出席するとあって、地元テレビ局や新聞社が取材に訪れ、カンボジア国内で大きく報道された。寄贈した校舎はレンガ造りの平屋建て、約五十人が利用可能な教室が五つ、生徒が座る椅子と机、黒板などの備品が備えられた。二人が使えるトイレも造られた。

開校式に日本から二十三人出席

開校式で登壇した石川桂さんは、『私は日本で三十八年間、学校の先生をしました。先生を辞任したら、カンボジアの学校に校舎をプレゼントすることが夢でした。そのことを亡くなった父母とも約束をしました。今日、皆さんが私の夢を叶えてくださったことを心より御礼申し上げます。生徒の皆さんに二つお願いがあります。一つは、皆さんが心の優しい子になり、勉強に頑張る子になるように努力してほしいこと。二つ目は、地域の人や多くの人々がいつも皆さんを見守ってくれていることを忘れないでほしいことです』と挨拶した。また、石川桂さんを始めとするふれあいの旅参加者の一部が開校式後の三月十二日、プノンペンにある日本大使館を表敬訪問し、川村公使に校舎の完成を報告した。

「第20回カンボジアふれあいの旅」に23人参加



井戸を贈呈した小学校で学用品を配る及川英博さん

「第二十回カンボジアふれあいの旅」が三月七日〜十三日に行なわれ、二十一人の会員さんが全日程参加、二人の会員さんが一部参加してくれた。初参加の会員さんは八人だった。石川桂理事が寄贈したトロバントム小学校の開校式に参加、及川英博・弘子夫妻が寄贈した井戸の贈呈式に参加、学用品の配布、里子の家庭訪問、夢ホーム訪問、絹織物の島見学、一部はアンコールワット観光を楽しんだ。次回、第二十一回の旅は、七月四日〜十日に実施する予定。

国籍変更には決意と覚悟が必要

NPO法人 21世紀のカンボジアを支援する会 理事長 根岸 恒次

お笑い芸人の猫ひろしさんがマラソンでロンドン五輪を目指すため、日本国籍を捨ててカンボジア国籍を取得したという。意外なところでカンボジアが話題になり、嬉しいやら恥ずかしいやら。カンボジアに住んでもいない日本人がそう簡単に国籍取得はまず不可能だ。

国籍を変更することについて、作家の曾野綾子さんが雑誌の中で「あまりに軽い」と批判していた。ロンドン

いこと、日本政府に敵対していないことなどだ。仮に、カンボジア国籍取得の条件が同じなら猫さんの国籍取得はまず不可能だ。国籍を変更することについて、作家の曾野綾子さんが雑誌の中で「あまりに軽い」と批判していた。ロンドン



真剣な眼差しで勉強するカンボジアの子どもたち

境にあるスイスの国籍を捨て、ハンセン氏病の元患者だった人たちの生活を助けるため、アフリカのアンゴラという国の国籍を取得したスイス人医師を例にあげ、国籍を変更することに決意と覚悟が重要であることが強調されていた。

カンボジアは、日本人が国籍を取得するにはまだまだ不安定な国だ。仮に、カンボジアで戦争が勃発しても、日本政府は在留邦人のみいち早く救出に向かうが、その時、猫さんがカンボジアにいても救出されることはない。どこまでもカンボジアの人たちと運命を共にするわけだ。年金も国保も生活保護もなく、救急車も消防車もすべて有料のカンボジア、地方に行けば電気なし、水道なし、ガスなし、トイレなし、ないないづくしのカンボジア。日本は原発事故、地震や津波があつて、決して住みよいとはいえないが、それなりに豊かさを享受できて、とても素晴らしい国だと思う。これらは外国へ出てみないと分からない。日本人として生まれてきたことに感謝しつつ、私たちにできることは何かを真剣に考えていきたい。

カンボジアの子どもたちをサポートしてください



小学校で勉強する里子

クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、大多数の人々は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめてしまう子どもが後を断ちません。本会では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。思えば67年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくださいました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子ども達を支援する番です。 ※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。

- 【年会費】: 子ども1人につき、1年間3万円。一括納入、分割納入（毎月2500円×12ヵ月）のどちらでも可。所定の郵便振替用紙を使ってお振込みください。
- 【会費の用途】: 学用品、制服、靴などの購入、学校への納付金、お小遣い、生活資金などに使われます。このほか、現地スタッフの給料、ガソリン代、事務所家賃など現地でかかる経費、通信費、印刷費など東京の本部でかかる経費として使われます。
- 【サポート期間】: 最低1年間単位ですが、少なくとも子どもが学校を卒業するまでの期間、サポートしていただけたら幸いです。里子からは年2回、近況を報せる手紙（日本語に翻訳）と写真が届きます。
- 【里子との交流】: 里親さんからの手紙、プレゼントも里子に届けることができ、心あたたまる交流ができます。現地で暮らす里子に会いに行くための旅行も年3回実施しております。

本会は皆様からの寄付金のみで活動しているNPO法人であり、公的資金（税金）は一切いただいておりません。

神戸ユネスコ協会の校舎がほぼ完成



90%完成した校舎

神戸ユネスコ協会（加藤義雄会長・法人会員）の資金協力により、昨年十一月に着工した校舎（コンポンチュナン県・ストックアイトロミヤ小学校）の建設工事は約九十パーセントが終了、五月の開校式を持つばかりだ。

3月はカンボジアの小学校に4基の井戸が完成



井戸の完成を喜ぶ小学校の生徒たち

3月は、4つの小学校に手押しポンプ式井戸を贈呈した。9日、ふれあいの旅に参加した及川英博・弘子夫妻が寄贈した井戸の贈呈式があり、及川さんを始めとするふれあいの旅参加者が出席して井戸の完成を祝った。

カンボジアでは、都市部を除く村々には水道がないので井戸は大切な水源だが、高価なので村には井戸を掘る予算がないため、その大半を外国のNGO団体などが寄贈している。本会もその一つで、通算の井戸設置数が200基を超えた。及川さんは、寄贈した井戸のネームプレートに「友情の水」と銘記した。

井戸は1基16万円（ネームプレート付き）で完成する。

問い合わせは事務局へ。（☎03-3991-2854）

3月に完成した井戸の内訳

ネームプレートに記された名前など	学校名	生徒数	学校の所在地
① 友情の水 及川英博・弘子様	タンブン小学校	366人	コンボンチャム県バーティ郡
② 竜ヶ崎ロータリクラブ様	スワイトム小学校	589人	シムリアップ県プサートバン郡
③ 松原睦美様	ターロン小学校	411人	コンボンチャム県プレイチュ郡
④ 松原睦美様	コッタービーム小学校	498人	コンボンチャム県プレイチュ郡

※通算の井戸設置数（2003年～）＝204基（3月現在）



自作の洗面器を持って修了式を行なった

第10回「もの作り技能講習会」開催（夢ホーム）

板金加工の分野で、長年にわたる日本のもの作りを支えてきた鈴木千雄さん（愛知県あま市・里親会員）が三月十四日～十六日、夢ホーム内の職業訓練棟にて、第十回「もの作り技能講習会」を開催した。

児童養護施設《夢ホーム》日記

3月10日、ふれあいの旅に参加したメンバー（23人）が夢ホームを訪問、昼食を共にしながら交流を楽しんだ。子どもたちが歌を披露すると、負けじと参加者も詩吟で応酬、なごやかなひとときだった。



ふれあいの旅の皆さんと記念撮影

ふれあいの旅一行が訪問

また、ふれあいの旅参加者より沢山のプレゼントをいただいた。

お米をありがとうございました



お米を沢山いただきありがとうございました

ふれあいの旅の訪問にあたり、今回も沢山の米を寄贈していただいた。感謝!! お米を寄贈してくださった方々（敬称略）＝及川英博・弘子、今紀子、熊谷加代、上山陽子、園田健次・美代子、廣川恵美子

お年玉募金で園内を整備

1月に実施したお年玉募金で、夢ホームの整備を進めている。3月は、崩れた池の修復、台所のかまどの設置、焼却炉の設置など。



立派なかまどができました

洗剤1年分ありがとうございました



毎日洗濯しています

新潟市の三林けい子さん（理事・里親会員）が代表を務める「新潟発→カンボジア支援プロジェクト730」より洗濯洗剤（1年分相当）が贈られた。また、ノートパソコンも2台贈られ、子どもたちが活用を始めた。

園内の果物が熟れごろ



マンゴーがおいしそう

夢ホーム開園時に苗木だったマンゴーの木、3年経って早くも実が実った。子どもたちのおやつになっているようだ。その後も毎年のように苗木を植えているので、数年後は庭が果樹園になりそうだ。



久々に世界遺産、アンコールワットを訪れた。乾季のハイシーズンでもあり、人気の第三回廊に登る階段（カ所のみ）は大渋滞。残念なことには日本人の姿は少なく、欧米人、韓国人、中国人が大半。

投稿

くったくのない笑顔が、
只一つの救いでした
後藤泰二
今回副団長の佃井先生の紹介により、「第二十回カンボジアふれあいの旅」に初参加を致しました後藤泰二です。

カンボジアは内戦、混乱が長く続いて荒廃し、元の活気ある生活を取り戻すまでこれから先、長い時間が掛かると思っています。家の中を見せたいと思いましたが、家財道具などあまり見せられませんが、日本でも考えられないような厳しい現況を目の当たりにしました。



夢ホームで寄贈品を渡す

ウォッチ!カンボジア

■ボルボト政権時の刑務所最後の生き証人
プノンペ
ン市内にある「トゥールスレン博物館」は、ボルボト政権時、刑務所として使われた元高校の校舎だ。ボルボト政権崩壊後の直前（一九七八年）に逮捕され、二ヶ月間刑務所で拷問を受けたが、ベトナム軍の侵入により間一髪難を逃れたナム・マイさん（八十一歳）が、博物館内で体験を綴った本を売っていた。体のあちらこちらに拷問の傷跡が残るナム・マイさんの体験を風化させたくない。

■贈呈式で、初めて聞いた日本の国歌
井戸の贈呈式などではカンボジア国歌が歌われるものの、今まで日本の国歌を聞くことはなかったが、この程井戸贈呈式で訪れた小学校で、初めて日本の国歌を歌ってくれた。日本からのNGO団体が教えてくれたのだらう。日本語による歌もたくさん歌ってくれ、大感激。

■カンボジア流あいさつ
カンボジアのあいさつは（日本ではお辞儀）前に手を合わせて微笑むのだが、相手により、合掌の高さが違うらしい。人によってお辞儀の深さが違ってくる。

第三回廊へ登る階段は三十分待ち

■韓国へ集団就職
日本では半世紀前、就職列車というものがあって、東北から集団就職した中学生は「金のたまご」ともてはやされた時代があった。カンボジアでは、経済協定を結んだ韓国への集団就職者が国際空港でチェックインしていた。その数約五十人ほど。ほぼ毎日のように渡航しているようだ。国の勢いを感じる。

■井戸の贈呈式など
井戸の贈呈式などではカンボジア国歌が歌われるものの、今まで日本の国歌を聞くことはなかったが、この程井戸贈呈式で訪れた小学校で、初めて日本の国歌を歌ってくれた。日本からのNGO団体が教えてくれたのだらう。日本語による歌もたくさん歌ってくれ、大感激。

2012年(平成24年)年間予定表

※	活動内容	現地活動
1月	・会報「アンコールワット」62号発行(1/1付) ・お年玉募金実施 ・ミニツアー実施	・第5回アクセサリ作り技術講習会
2月	・第37回理事会開催 ・第10回定期総会開催 ・亀戸文化センターで写真展	
3月	・会報「アンコールワット」63号発行(3/1付) ・第20回カンボジアふれあいの旅実施 ・都庁に2011年度事業報告書提出	・里子からの手紙と写真を里親に郵送 ・第10回もの作り技能講習会 ・第6回アクセサリ作り技術講習会 ・トロパントム小学校開校式
4月	・東久邇宮記念賞推薦、授賞式に出席 ・清瀬クレアギャラリーで写真展開催	・お正月で夢ホームの子どもたち帰省
5月	・会報「アンコールワット」64号発行(5/1付) ・ミニツアー実施 ・神奈川県民センターでアジアの子どもたち写真展開催	・第11回もの作り技能講習会 ・第7回アクセサリ作り技術講習会 ・ストックアイトロミア小学校開校式 ・神戸ユネスコ協会、カンボジア訪問
6月	・練馬区NPOパネル展出展	
7月	・会報「アンコールワット」65号発行(7/1付) ・第21回カンボジアふれあいの旅実施	・第12回もの作り技能講習会 ・第8回アクセサリ作り技術講習会 ・三林さんら3人夢ホームでボランティア
8月	・第38回理事会開催	
9月	・会報「アンコールワット」66号発行(9/1付) ・ミニツアー実施 ・会員交流会(新潟夏の陣)開催	・里子からの手紙と写真を里親に郵送 ・第13回もの作り技能講習会 ・第9回アクセサリ作り技術講習会 ・國學院大學国際協力サークル～優志～カンボジア訪問
10月	・グローバルフェスタ2012に出展 ・第35回練馬まつりに出展	・里子の成績表を里親に郵送 ・お盆で夢ホームの子どもたち帰省
11月	・会報「アンコールワット」67号発行(11/1付) ・第22回カンボジアふれあいの旅実施	・第10回アクセサリ作り技術講習会 ・第14回もの作り技能講習会 ・第5回小学校対抗サッカー大会開催
12月	・第39回理事会開催 ・会員懇親会(忘年会)開催	

里子家庭訪問記録

名前: チェア・チャントン 学校名: ビンボン中学校
 年齢: 14歳 学年: 中学校の1年生 性別: 女の子
 住んでいる場所: コンボンスプー県、ダムナックランコンミュン、ポンテック村
 学校までの所要時間: 自転車です35分

好きな教科: 国語(特に書き取りと読解が好きです。)
 苦手な教科: 理科(特に理科の問題を解くのが難しいです。)
 担任から一言: 成績は、道徳はA、健康はB、学校活動はA、出席はA
 家庭状況: 兄弟はありません。父親は別の人と結婚しています。母親がいます。現在、母親と暮らしています。

一日の過ごし方: 朝5時頃に起きるとまず、家の清掃します。それから、朝食(白いお粥)を作ります。昼食の後、水浴び、身支度をし中学校に行きます。昼食は1時半頃にします。午後はまた、中学校へ行きます。午後5時頃に家に戻り、6時頃に母親と夕食をします。毎晩、寝る前に、本を読んだり、先生から出された宿題をしたりしてから10時頃に寝ます。

好きな遊び: 人形遊び
 好きな食べ物: ランブータン(カンボジアの果物)
 将来の夢: 医者になること。

備考:
 私は兄弟がいません。1人っ子です。それで、将来、母親は私しか頼れません。母親が年を取り、村の人が病気になるかとお医者さんに行きます。母は医者になりたいです。里親さんは遠い所に住んでいるので、一度も会ったことがありませんが、親切で小学校からずっと教育支援金を続けてくれて心から感謝しています。里親さんをごまかさないように、頑張って勉強することを約束します。

2012年1月27日
 担当者: メン・ソマリ



家の前で母親と立っているチェア・チャントンちゃん

クメール教育里親基金活動レポート

「クメール教育里親基金」では、三月末日現在三百七十五人のカンボジアの子どもたちを教育支援している。三月十二日、ふれあいの旅に参加したメンバーのうち十六人が、二つに分かれて里子の家庭を訪問した。

二〇〇九年、小学校に校舎を寄贈した三木滋造さん(兵庫県・里親会員)は今回が二度目のカンボジア訪問。三月に八十五歳のお誕生日を迎えた。三木さんが教育支援している里子にも会えて有意義な旅だったと、帰国後感想を寄せてくれた。

支障している里子にも会えて有意義な旅だったと、帰国後感想を寄せてくれた。

里子の家族らと(後列左が三木滋造さん)



二本松ロータリークラブで現地報告

二月二十九日、福島県二本松ロータリークラブ例会において、一月にカンボジアで音楽授業のボランティアをした桑原淑子さんが現地(二本松市・里親会員)が現地の様子を紹介した。

桑原さんは昨年八月、同クラブにおいて講話した際に現地に持参した楽器の代金を寄付していただいたことから、今回の招聘になった。手製のレポートを会員さんに配布、理解と協力をお願いした。

活動報告する桑原淑子さん



活動報告する桑原淑子さん

紙の募金箱をお部屋に置いてください

紙の募金箱をお部屋に置いてください

本会では、夢ホーム始め現地活動を支えるため、紙の募金箱を作成して皆様にご支援をお願いしております。

折りたたみができ簡単に送ることができますので、ご家庭又はお部屋に一つ、貯金箱代わりに置いていただけませんか? 貯まったお金は郵便局から振替用紙を使って送金ができます。(小銭は郵便局で数えてくれます) お電話いただければすぐに送ります。



第十回定期総会を開催

二月十一日、第十回目となる定期総会を「練馬区立練馬文化センター・会議室」で開催した。同時に、第三十七回理事会も開催。参加者は理事さん中心に十五人ほどだった。

本会は、二〇〇三年一月に東京都よりNPO法人の認可を受けた。来年が十周年になるので、来年四月頃に定期総会を兼ね、祝賀会を開催することが決まった。

「亀戸文化センター」で写真展開催

二月二十二日(二十七日)、「亀戸文化センター」(東京都江東区)にて写真展「カンボジアの子どもたち」を開催した。昨年に続き二度目の開催。会館の中に出張所などがあって人通りが多いことから、毎年実施している。

会場に展示した子どもたちの写真



会場に展示した子どもたちの写真

投稿 豆画伯誕生!! 今 紀子

豆画伯、ブーちゃんとお姉さん

昨年十一月訪問した時、色を塗るよう話して渡しておいた「ぬり絵絵本」。果たしてどんな出来上がりでしょうか。友人の里子ブーちゃんの家を訪ねました。「絵本小犬のハッピーちゃん」は、小学校低学年用に作り直しました。でもカンボジアの子どもたちには難しかったようです。日本の子どもたちは、テレビのアニメや絵本などに囲まれて過ごしているのに、何もなく出来ることでも、それらに縁遠い生活をしているカンボジアの子どもたちにはイメージが湧いてこないのでしょう。苦労のあとがしのばれました。ノートに何回も練習してから絵本に色を塗ったようです。良くがんばりましたね。失敗したらどうしようかとドキドキしながらクレヨンを塗ったんですね。絵本を渡す時、もう少し丁寧に説明してあげれば良かったね。何ページか一緒にこなすまできな絵本を作ってくれました。立派な豆画伯誕生です。これをきっかけに「お絵かき」に興味をもってくれたらうれしな。

(東京都・会員)



豆画伯、ブーちゃんとお姉さん

第六回「鑄造によるアクセサリ作り技術講習会」(夢ホーム)

木枠を製作する受講生たち

日本宝飾クラフト学院(本校=東京都台東区)の専任講師を務め、自宅にも工房を持つ榎戸徹彦さん(横浜市・里親会員)が、夢ホーム内に工房を作りカンボジアの女性や若者を対象に、鑄造によるアクセサリ製作の技術を指導している。昨年五月にスタートし、この三月で丁度一年が経過した。

一年経ち、事情があり講習会に来なくなってしまう人が出始めたため、次回(五月)の講習会に備えて生徒を新規募集することになった。

今回の講習会では四つの木を四十五度に切断し、それを組み合わせて接着し、アンコールワット見学の際に撮ったレリーフの動物の写真を入れ、写真の上に生徒が以前に作った動物(カニ又はネズミ)のペンダントを接着し、販売可能な状態に仕上げた。

次回の講習会は、五月二十八日(六月二日)を予定している。



木枠を製作する受講生たち

活動に参加しませんか

ボランティアとして
 学用品を現地の学校で配布したり、子どもたちと交流して下さるツアー参加者を募集しています。ツアーは、年三回実施しています。

クメール教育里親基金
 農村の貧しい子ども達が学校に行けるようにと教育資金をサポートして下さる里親会員を募集しています。サポート金額は年間三万円(分割可)です。

会員として
 ・個人会員 (年額一〇五〇円)
 ・法人会員 (年額一〇二万円)
 ・里親会員 (年額三万円)
 会員の皆様には、隔月発行する本会の会報「アンコールワット」を発行の都度郵送します。会費の送付は、郵便振替、銀行振込み、現金書留で、郵便振替口座番号
 21世紀のカンボジアを支援する会
 (口座番号)
 001300-0160916
 ※銀行振込をご希望の方は事務局へ一報ください。
 ※郵貯銀行の自動引き落としをご希望の方は事務局へ一報ください。

活動に参加しませんか

ボランティアとして
 学用品を現地の学校で配布したり、子どもたちと交流して下さるツアー参加者を募集しています。ツアーは、年三回実施しています。

クメール教育里親基金
 農村の貧しい子ども達が学校に行けるようにと教育資金をサポートして下さる里親会員を募集しています。サポート金額は年間三万円(分割可)です。

会員として
 ・個人会員 (年額一〇五〇円)
 ・法人会員 (年額一〇二万円)
 ・里親会員 (年額三万円)
 会員の皆様には、隔月発行する本会の会報「アンコールワット」を発行の都度郵送します。会費の送付は、郵便振替、銀行振込み、現金書留で、郵便振替口座番号
 21世紀のカンボジアを支援する会
 (口座番号)
 001300-0160916
 ※銀行振込をご希望の方は事務局へ一報ください。
 ※郵貯銀行の自動引き落としをご希望の方は事務局へ一報ください。

投稿

カンボジア音楽授業ボランティア報告

二〇一二年一月五日～一月二十六日

桑原発声研究所 桑原淑子

カンボジアに行き始めて六年目になり、音楽授業ボランティアは三回目になりました。

三月、昨年カンボジアを訪問している最中に東日本大震災が起こり、身内からは猛烈に叱られました。幸い住まいの二本松市で自宅と墓地の修理が済み、皆命には別状がなかったため、今年に思い切って一人で三週間の旅に出ました。

行きと滞在前半は会の理事長の根岸恒次さんがいろいろ心配してくれたので安心でした。

後半は、日本人でプロのカメラマンで、カンボジアの『ゴミの子供たち』を十年間撮り続けて、このほど写真集を出版した佐々木健二さんのお世話になり、プノンペン郊外のスタミンチエイ地区（貧民街）にある、日本や世界のNPO、NGOの支援で運営されているV・D・T・O小学校で、午前四十五分、午後一時間の授業をすることができました。

地方の養護施設からプノンペン市内のホテルに戻った時、風邪を発病し、咽が腫れて声でなくなってしまう、恐怖を感じ、英語も話せないのに、ガイドブックの地図を見ながら病院へ行きましたが、この時初めて何と自分は無謀な事をしているんだ！と思いました。帰国は一人でしたが、韓国経由なので安心でした。

今回、一番深く感じたのは、貧困という私一人ではどうしようもない永遠のテーマでした。私一人の力では、どうする事もできません。比べれば日本人はとも賛沢をしています。

夢ホームの子どもたちと絵本できずなを

三月十三日、日本で集めた絵本、約五十冊を夢ホームに寄贈した。NGO「ともしび」の代表を務める岡本浩史さん（東京都狛江市・会員）の仲介により、調布市及び狛江市の図書館よりサイクル図書を集め、本会を通じて児童養護施設「夢ホーム」へ寄贈した。本会の現地スタッフが仕事の合間に、日本語の文字をカンボジア語に変更する作業をしている。



絵本を手にする夢ホームの子どもたち

事務局便り「第20回カンボジアふれあいの旅」

は無事終了いたしました。参加してくださった皆様は大変喜んでいただきました。次回（7月）は、アンコールワット観光やトンレサップ湖周遊を日程に入れましたので、ぜひ参加ください。

■現地スタッフのリーが3月17日、現地の自宅にて結婚式を挙げました。根岸理事長始め、4人の日本人が出席しました。奥様も仕事しているため、当分は単身赴任になるそうです。幸多かれ！



幸せいっぱいのお二人

5月～6月の予定

- 会報「アンコールワット」5月1日付第64号発行
●カンボジアミニツアー（5月9日～22日）
●神戸ユネスコ協会カンボジア小学校開校記念旅行（5月12日～18日）
●写真展「アジアの子どもたち」（5月25日～27日・かながわ県民センター）

カンボジアミニニュース

現地で行っている新聞や情報誌から、カンボジアに関するニュースを紹介いたします。

日

本最大の小売業グループ「イオン」が二〇一四年、プノンペンにショッピングモールを開業する。購買力を増す二十代や三十代の「ニューファミリー」をターゲットに、家族で楽しめる時間消費型の商業施設を目指す。

北

九州水道局は、カンボジア鉱工業エネルギー省との間で、技術コンサルタントとして国内九都市の公営水道の基本計画を策定する覚書を交わした。

カ

カンボジアの新しい民法が昨年十二月二十一日に「適用」され、プノンペンでカンボジア司法省と、民法制定に協力した日本協力機構（JICA）の共催による祝賀式典が開かれた。適用とは実際に法律を使い始めることを指す。

若

若者の間でクメールポップス流行が高まっている。二〇一一年のCD、DVDの売り上げの主流は韓国語、英語、中国語の歌だったが、この人気傾向を受けてクメールポップスのCD、DVD制作にも力が入っている。流行の理由は歌詞の意味が分かり、歌いやすいからだ。

北九州

北九州がカンボジアで水ビジネスに進出 エネルギー省との間で、技術コンサルタントとして国内九都市の公営水道の基本計画を策定する覚書を交わした。

カ

カンボジアの新しい民法が昨年十二月二十一日に「適用」され、プノンペンでカンボジア司法省と、民法制定に協力した日本協力機構（JICA）の共催による祝賀式典が開かれた。

援を行っており、その経験を生かした「水ビジネス」に乗り出した。これまでに築いたカンボジア水道業界内の人脈や、情報収集のノウハウを生かしたいとしている。

真珠のように輝く子供たちの瞳に出会ってみませんか？ 「夢ホーム」で子ども達と楽しい交流・里子の家庭訪問・感動的な井戸の贈呈式・アンコールワット、トンレサップ湖周遊などなど 第21回カンボジアふれあいの旅 参加者募集

本旅行は観光旅行では味わうことのできない現地の子ども達との交流をはかることができます。特に本会が運営する児童養護施設「夢ホーム」の子ども達が皆様をお待ちしております。併せて学用品配布などのボランティア活動にも参加でき、思い出に残る充実した海外旅行を楽しむことができます。



「夢ホーム」の子ども達が皆様をお待ちしています



学校訪問では井戸贈呈式に出席します

- 【旅行期間】平成24年7月4日（水）～10日（火）（5泊7日）
【募集定員】最少催行人員10名様（定員＝30名）
【滞在ホテル】コージナホテル（シェムリアップ）2泊
【利用空港】成田空港および関西空港など
【旅行日程】4日＝成田空港・関西空港などから乗り継ぎにてカンボジアのシェムリアップ空港へ。
5日＝終日アンコールワット・アンコールトム観光
6日＝トンレサップ湖周遊、その後シェムリアップ⇒プノンペン、バス移動
7日＝小学校訪問、井戸贈呈式、学用品配布
8日＝夢ホーム訪問、セントラルマーケットで買い物
9日＝里子の家庭訪問、夕方チェックアウト⇒プノンペン空港から帰国の途へ
10日＝早朝、成田・関西空港などに到着

お問い合わせ・申し込み 旅行企画☆特定非営利活動法人 21世紀のカンボジアを支援する会 〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-701 TEL: 03-3991-2854 E-mail: info@aac21.net http://www.aac21.net FAX: 03-3557-1213

写真展「アジアの子どもたち」
カンボジア、インド、雲南省（中国）、スリランカなど、アジアで活動するNGO団体の写真を展示し、活動報告いたします。
日時 5月25日（金）～27日（日）
会場 かながわ県民センター（1階展示場）横浜駅西口より徒歩5分
電話 03(3999)2854